

領域	問題番号			出題の意図	評価の観点			
	大問	小問	通番		聞く能力	書く能力	読む能力	言語事項
話すこと・聞くこと	一	1	1	どのような事実を取り上げて話しているか考えながら聞くことができる。				
		2	2	話し手の説明の仕方の工夫を考えながら聞くことができる。				
		3	3	聞き方の工夫を考えながら聞くことができる。				
		4	4	事実と意見との関係を考えながら話の内容を聞くことができる。				
読むこと	二	5	5	指示語が指し示す内容を正しく理解しながら読むことができる。				
		6	6	説明されている内容を正確にとらえながら読むことができる。				
		7	7	文脈の中の人物の立場の違いを正確にとらえながら読むことができる。				
		8	8	筆者の論理の展開を正しく理解しながら読むことができる。				
		9	9	文章の要旨を正しく理解しながら読むことができる。				
		10	10	文章の表現の仕方や文章の特徴を正しく理解しながら読むことができる。				
書くこと	三	11	11	相手や目的に応じて情報を取捨選択したり、表現を工夫したりするよさを理解して書くことができる。				
言語事項	四	12	12	中学校2年生までに学習した漢字を正しく読むことができる。				
		13	13					
		14	14					
		15	15					
	一	16	16	小学校6年生までに学習した漢字を正しく書くことができる。				
		17	17					
		18	18					
		19	19					
		20	20					
		21	21					
	四	22	22	同訓異字の言葉を正しく使うことができる。				
		23	23	対義語を正しく使うことができる。				
		24	24	同音異義の言葉を正しく使うことができる。				
		25	25	文の成分を正しく理解している。				
四	26	26	慣用的な表現を正しく使うことができる。					
	27	27	敬語を正しく使うことができる。					
	28	28	古文の仮名遣いを正しく理解している。					
	29	29	資料から分かることを、主語・述語が整った文で書くことができる。					
書くこと	五	30	30	資料をもとに具体的な例や体験から自分の考えや理由をもち、決められた字数で書くことができる。				
					/ 4	/ 3	/ 6	/ 17

今後の学習に向けて \*自分がかんばりたいところに を付けたり、下線を引いたりしましょう。

「聞くこと」の力を身に付けるために	「話し手の意図を考えながら聞く」「事実と意見の関係に注意して聞く」「説得力のある話となるよう内容や話し方などに気を付けながら聞く」など、国語の授業で学習した聞き方について復習し、他教科の授業や毎日の生活で話を聞くときにも生かしましょう。 家庭においても、ニュース番組のキャスターや討論番組の発言者の話し方や意図について注意深く聞くようにするなど、適切な語句の選択や効果的な使い方を学習しましょう。
「書くこと」の力を身に付けるために	最初に、自分の考えをはっきりさせ、何を伝えるかを明確にしましょう。その上で、自分の考えを伝えるためには、どのような根拠を用いると効果的かを考え、ふさわしい根拠を選び出すことが大切です。さらに、話のまとまりごとに段落に分けて書くようにしましょう。 家庭においても、新聞のコラムの内容をまとめて感想を書き加えたり、毎日の生活の記録ノート等に感想と根拠を書いたりして、日頃から文章の構成を工夫する練習をしましょう。
「読むこと」の力を身に付けるために	説明的な文章を読むときには、「筆者は何を伝えようとしているのか、その考えはどのような根拠で説明されているか」「分かりやすく表現するために、筆者はどのような構成で考えを述べているか」などに注意して読み、読み取ったことをもとに自分の考えをもつようにすることが大切です。 家庭においても、読書の時間を作り、自分の好きな本を読みましょう。その時、「筆者は何を伝えようとしているのか」を考慮だけでなく、そのことに対して自分はどうか考えるのか自分の意見をもちながら読みましょう。また、授業で学習した表現方法や着目するとよい表現については、ノート等に整理したり表にまとめたりして、その働きを理解しておきましょう。
「言語についての知識」を身に付けるために	漢字については、どこが間違っているかを明らかにし、正しい字で繰り返し練習することが大切です。また、読み方が分からない場合は辞典等で確かめたり、学習した漢字を使って書いたりする習慣を付けましょう。文法や古文の仮名遣い等については、教科書等を使って何度も復習することが大切です。 家庭においても、教科書に掲載されている漢字を繰り返し書いて覚えたり、新しく学習する教材の語句で意味が分からないものについては、事前に辞典を使って語句調べなどを行ったりしましょう。